

3学期の授業づくりに向けて パート1

2学期も残りわずかとなりましたが、現在までの様々な教育実践、ありがとうございました。3学期は進学・進級に向け、育成してきた資質や能力を大いに発揮させる教育活動を展開していく時期であり、十分身に付いていない資質・能力を意図的に育成していくことが求められる時期でもあります。本号では、授業づくりの大切な視点を掲載しましたので、今後の授業づくりの参考にしてください。

授業づくりの基盤として

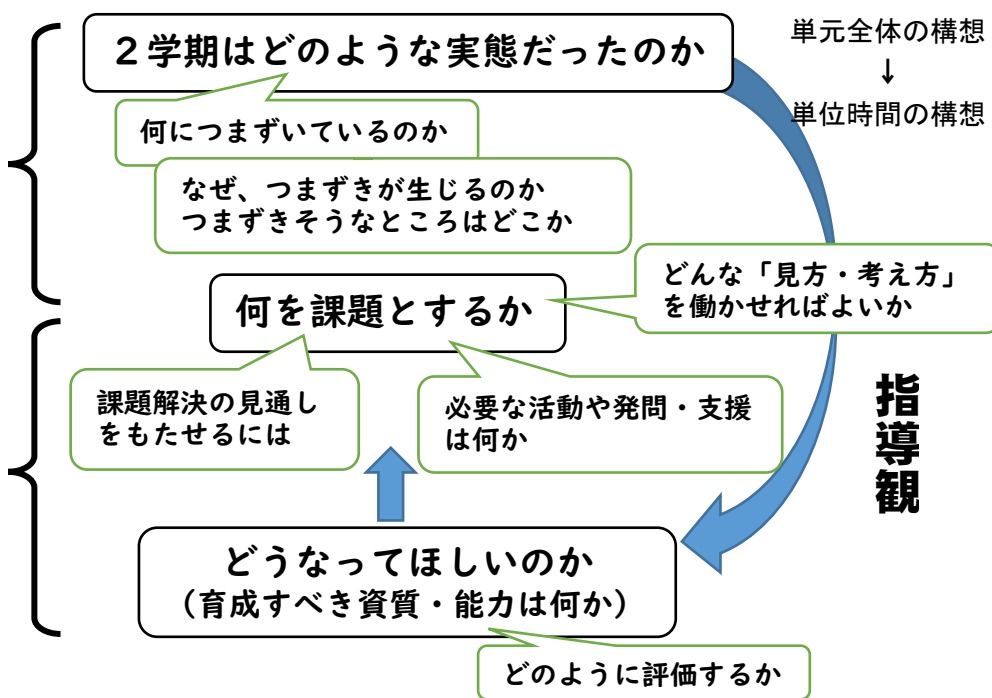
単元や授業を構想する際、3つの“観”がにつながる授業デザインをしていくことが大切です！

児童・生徒観

今までの学習の様子、学力調査結果、レディネステストなどによる実態の客観的把握

教材観

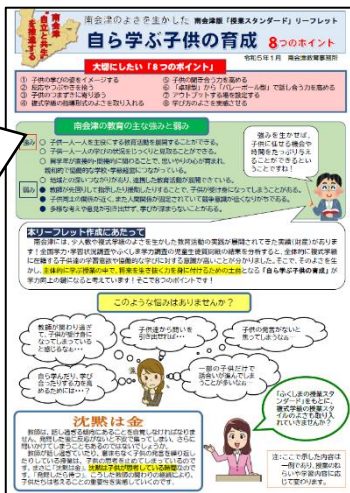
学習指導要領に基づく単元構想



【ポイント】

- ★ 児童生徒の「つまずき」が大きかったり、連続していたりする場合は、「どの学年の、どの学習内容からつまずいているのか」を確認し、単元の始めに振り返りや補充の時間を設けましょう。
- ★ 導入に時間をかけすぎず、児童生徒同士の協働的な学習やまとめ、振り返りの時間を十分に確保するよう構想し、学びのよさを価値付けたり、学びが意味付くようにしましょう。

「南会津 自ら学ぶ子供の育成リーフレット」を授業づくりを活用してみてください。



「補足資料1～4」には、実践例を基に、教師の構えについて書いています。

3学期の授業づくりに向けて パート2

授業者の発問とその後の対応

「児童生徒同士でつながる話し合いをさせたい」と思っている、教師と児童生徒の1対1のやりとりに終始してしまう授業には、児童生徒の発言したいという意欲や思考を停滞させてしまう以下のような教師の関わりが見られがちです。

「ふくしまの授業スタンダード P5 教師の働きかけの例」、「南会津 自ら学ぶ子供の育成リーフレット II 深める」参照

【子供に気付かせない】

～の考え方について、◇◇から分かるんじゃない？

【子供の発言を繰り返す】

△△さんは、〇〇という考え方なんだね。



【子供の発言を説明する】

なるほど！□□さんの言いたいことは、〇〇ということなんだね。

【単語で答えられる質問】

T：この考え方いいですか？
C：いいで～す！

改善例

【子供に気付かせる】

～の考え方について、どこから分かるの？

【子供の発言をつなげる】

△△さんの考えにつなげられる人？
△△さんは、この後に何を言おうとしているのか考えましょう。



【子供の発言を子供が説明する】

△△さんの考え方のよいところはどこですか？

【単語での答えを深める質問】

T：この考え方いいですか？
C：いいで～す！
T：どうしていいと思うの？

アウトプットの重要性

南会津教育事務所では、授業のまとめや振り返りの時間における「全員のアウトプット」が、児童生徒一人一人の学びを補償したり、学び方のよさを広げたりするために重要であると考えています。

今日の学習で一番大切なことは何でしたか？隣の友だちと伝え合ってみてください。

今日の学習ですごいなと思った友だちがいるんだけど…誰だと思いますか？

今日、学んだ方法を隣の友だちと説明し合いましょう。説明がOKなら、まとめの問題に取り組みましよう。

今日、学んだことで大切なことはこれだな。

こういう学び方がいいんだな。

